

教員コラム

『あの日』

准教授 森井 裕史



能登半島地震でお亡くなりになった方々、被災された皆様、関係者の皆様には心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

地震のニュースを聞くたびに、今から29年前の、まだ暗い時間に、家ごと振り回されているような大きな揺れを感じた阪神・淡路大震災を思い出します。寝ていた部屋のタンスは倒れ、割れたガラスなどで、裸足では到底歩けない状態でした。

そして、その日は二人目の子どもが産まれる予定の日だったのです。明るくなってすぐに病院に行くよ、そこにはたくさんのご遺体とけがをした人が運ばれてきていました。ドクターをつかまえて予定日であることを話すと、いかにも簡単に、いつでも連れてきなさい、と言われました。体中から力が抜けました。子どもは5日後に生まれました。産湯につかることのなかったその子も今は二児の母になり、子育てに奮闘しています。

担当授業紹介・ フードデザインサイエンスなど

専任講師 中野 久美子



生活環境学科では、時代に合わせた多彩な資格が取得できます。

私が担当している「色彩と空間」「テーブルコーディネート」等の授業では、デジタル社会で必須のITを学ぶための基礎として大切な、色彩心理やパーソナルカラー、ユニバーサルカラー等の知識を得て、関連する検定を受けることができます。

また「フードデザインサイエンス」では、調理科学や調理技術、食品加工学等の融合として生力カオからチョコレートを作ったり、季節の果物からフルーツジャムを作る実習等を行い、楽しく学びながら社会に新しい価値を創造できる力を養います。

